

令和3年1月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和3年1月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

さて、市では、昨年12月に令和2年の10大ニュースを発表しました。

《令和2年 八戸市10大ニュース》

1. 新型コロナウイルス感染症、八戸市で陽性患者（3月）
2. 蕪嶋神社再建完了 一般公開始まる（3月）
3. 新型コロナウイルス感染症、八戸市でクラスター発生（10月）
4. 八戸市総合保健センター 全面業務開始（8月）
5. 八戸国体開幕 ～魅力、希望、感動 全国に～（1月）
6. 八日町に複合ビル完成 構想から8年 新たなランドマーク誕生（7月）
7. 「八戸シーガルビューホテル」が閉鎖（4月）
8. 「はちのへゆーゆらんど新八温泉」が閉館（5月）
9. 都内に八戸圏域の情報発信拠点「8base（エイトベース）」オープン（9月）
10. 新型コロナウイルス検査センター設置 PCR検査体制強化（6月）

令和2年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、八戸市においても陽性者が確認され、様々なコロナ対策に取り組んだ年となりました。そのような中、八戸市総合保健センターや8baseがオープンするなど、明るいニュースもありました。

今年も引き続きコロナ対策に取り組む年となりますが、状況が改善され、社会全体が活気を取り戻し、明るいニュースが増えることを願っております。

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 1月号 レポート

令和2年12月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	大島衆院議長 歴代最長に 通算在任2030日
(2)	八戸市 成人式を8月に延期
(3)	「自分でできる介護予防」市がパンフレット作成 全世帯に配布
(4)	馬淵川放水路 「選奨土木遺産」に認定

【産業】

記事	概要
(5)	酒米交換、業界初の挑戦 ～「八仙」「田酒」「豊盃」夢のコラボ～
(6)	八商高と味の加久の屋がコラボ 「せんべい汁茶漬け」開発
(7)	短命県返上へ 八商高生考案の「まっ黒弁当」販売
(8)	青い森鉄道全線開業10年 新たな魅力づくりへ
(9)	オリジナルチョコレートコンテスト 「『ジョミ』のボンボンショコラ」優秀作品に
(10)	「台湾人がコロナ収束後行きたい都道府県ランク」青森県が4位
(11)	八戸の新たな土産品に 南部せんべいスイーツ開発
(12)	カネク醸造（八戸市） 八戸のクラフトビール「八戸麦酒」製造へ
(13)	八戸のタクシー事業者 免許証自主返納者対象に運賃10%割引
(14)	三八地域で「寒締めホウレンソウ」出荷本格化

【地域】

記事	概要
(15)	「短歌甲子園2020」八戸高連覇 八戸西高は初の準V
(16)	日本管楽合奏コンテスト全国大会 少人数の函南小吹奏楽愛好会が最優秀賞
(17)	八戸市で12月の24時間降雪量更新

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	八戸えんぶり 奉納摺り、神輿渡御式中止 一斉摺りは実施の方向
(19)	韓国文学の書評「K文学レビューコンクール」竹垣さん（八戸市）が最優秀賞

(11)	<p>八戸の新たな土産品に 南部せんべいスイーツ開発</p> <p>八戸市でイベント企画を手掛ける「hati style (ハチスタイル)」などは、南部せんべいを使ったスイーツ「Chopetto (チョコペット)」を開発し、12月に販売を始めた。南部せんべいをもっと楽しく食べてほしいとの思いから一昨年9月に商品化に着手。同市の洋菓子店「MANODO&CORTE (マノドアンドコルテ)」と共同で開発を行い、白煎餅にホワイトチョコとミックスベリーを載せた「ローズ&ベリー」やマンゴーなどのドライフルーツを使った「トロピカル」など5種類を考案した。hati styleやMANODO&CORTE、オンラインショップなどで取り扱っている。</p>
(12)	<p>カネク醸造 (八戸市) 八戸のクラフトビール「八戸麦酒」製造へ</p> <p>八戸のクラフトビール造りを計画している「カネク醸造」(八戸市)は、旧南郷地区給食センターの建物を再活用して醸造所を開設し、今年3月までに酒類製造免許を取得してビールの仕込みに入る。クラフトビールのブランド名は「八戸麦酒(ビール)」で、早ければ4月の初出荷を目指す。八戸麦酒はフルーティーな香りを特徴とし、南郷産のブルーベリーなどを使ったフルーツビールも製造する予定。カネク醸造の山形琢一社長は「地元の資源を活用し、地域に根付いた面白いビールを造っていききたい」と意気込んでいる。</p>
(13)	<p>八戸のタクシー事業者 免許証自主返納者対象に運賃10%割引</p> <p>八戸市内の各タクシー事業者が12月下旬から順次、自動車運転免許証の自主返納者を対象に、運賃を10%割引サービスを開始している。利用者は、運転免許の自主返納後に発行される「運転経歴証明書」をタクシーの乗車時に提示すればサービスを受けられる。移動に便利な公共交通機関であるタクシーがお得に利用できるようになり、運転に不安を抱える高齢者らの運転免許の自主返納につながる事が期待される。</p>
(14)	<p>三八地域で「寒締めホウレンソウ」出荷本格化</p> <p>寒さにさらして甘味を凝縮させた「寒締めホウレンソウ」の出荷が、三八地域で本格化している。寒締めホウレンソウは、寒さで凍結しないよう葉の水分を減らし、糖分を蓄える性質を利用して栽培する。通常のホウレンソウに比べ栽培の手間がかかるが、その分価格も高く、ビタミンCなどの栄養価も高いという。出荷できる作物の少ない冬場の貴重な収入源として、八戸農協管内では生産者数が年々増加。同農協管内では約60人が生産し、12月から翌年2月にかけて、青森県内各地に出荷される。</p>

【地域】

記事	概要
(15)	<p>「短歌甲子園2020」 八戸高連覇 八戸西高は初の準V</p> <p>全国の高校生が短歌の腕前を競う、第15回全国高校生短歌大会「短歌甲子園2020」が行われた。短歌甲子園は例年、盛岡市で行われているが、今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面形式で開催され、全国46校61チームが出場。11月18日、青森県立八戸高と県立八戸西高の八戸勢による決勝戦となり、八戸高が2年連続日本一に輝いた。両校の文芸部員は大会では勝敗を争う対戦相手だが、同時に同じ地域で実力を高め合う仲間。合同歌会を開くなど学校の枠を越えて切磋琢磨してきた努力は、全国大会でしっかりと花開いた。</p>

(16)	<p>日本管楽合奏コンテスト全国大会 少人数の函南小吹奏楽愛好会が最優秀賞</p> <p>八戸市立函南小吹奏楽愛好会が、昨年11月に開かれた日本管楽合奏コンテスト全国大会で最優秀賞を受賞した。出場団体のほとんどが20～50人の大規模な編成の中、少数精鋭の3人による木管三重奏で参加。新型コロナウイルスの影響で、大会史上初のオンライン配信を兼ねた動画審査となったが、美しい音色と情感たっぷりの表現力を武器に、青森県勢初の快挙を成し遂げた。今後は同じメンバーでアンサンブルコンテストへの参加も予定しており、「もっと良い演奏を目指して頑張っていきたい」と話している。</p>
(17)	<p>八戸市で12月の24時間降雪量更新</p> <p>強い冬型の気圧配置の影響で、青森県南地方は12月30日、大雪に見舞われた。青森地方気象台によると、八戸では、未明から降り始めた雪が最大22センチに達し、12月の24時間降雪量の記録を更新した。大雪の影響で交通にも乱れが生じ、八戸線の陸奥白浜～鮫、鮫～久慈間でそれぞれ倒木が発生。鮫～久慈間で終日運転を見合わせるなど、上下9本が運休、上下3本が遅延し、約610人に影響が出た。市内では、朝早くから雪かき作業に追われる市民の姿が多く見られた。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(18)	<p>八戸えんぶり 奉納摺り、神輿渡御式中止 一斉摺りは実施の方向</p> <p>今年2月17～20日の「八戸えんぶり」を巡り、12月6日に開かれた八戸地方えんぶり連合協議会の総会で、初日に執り行う「奉納摺り」と、長者山から八戸市庁まで神輿を渡御する「長者山稻荷大神御神輿渡御式」の二つの神事を中止する方針が明らかになった。一方、市中心街でえんぶり組が競演する「一斉摺り」は、主催団体の八戸地方えんぶり保存振興会が引き続き開催する方向で検討を進めている。連合協議会の大館恒夫会長は「コロナに打ち勝って伝統のえんぶりを続けていきたい」と話している。</p>
(19)	<p>韓国文学の書評「K文学レビューコンクール」 竹垣さん（八戸市）が最優秀賞</p> <p>八戸市の会社員竹垣なほ志さんが、韓国文学の書評を寄せる「第12回K文学レビューコンクール」で最優秀賞を受賞した。同コンクールは、韓国書籍の情報を発信する団体「K-BOOK振興会」が主催。竹垣さんが受賞したのは、ホームレスの男性と、同じ境遇で病気のある女性が登場する小説の書評。韓国の格差社会に触れつつ、どん底を生きる2人の「愛の深度」について掘り下げた。竹垣さんは、2019年に行われた、八戸ブックセンター主催の読書会への参加をきっかけに韓国文学に興味を持った。書評は館内にある「カンヅメブース」で執筆して投稿。同ブースの利用者の中で、コンクールなどでの入賞は初めてとなった。</p>

<p>(6)</p>	<p>八商高と味の加久の屋がコラボ「せんべい汁茶漬け」開発</p> <p>郷土料理を手軽に味わってもらおうと、青森県立八戸商業高の3年生と八戸市の味の加久の屋が「せんべい汁茶漬け」を共同開発した。多くの人から受け入れてもらえる味を目指し、生徒と同社でレシピを出し合って試作。だし汁は通常より濃いめに調味して、ご飯を入れてお湯で割るとちょうど良い味になるよう工夫し、シイタケなどの具が入ったしょうゆベースのだし汁と、かやきせんべいのセットを完成させた。11月29日、同市のピアドゥで限定65セット（1セット3食入り500円(税込み)）を販売。感染症対策により、当初企画していた調理販売はできなかったが、生徒らは来店者へ商品をPRし、見事に完売させた。</p>
<p>(7)</p>	<p>短命県返上へ 八商高生考案の「まっ黒弁当」販売</p> <p>北東北でスーパーを展開するユニバースは12月4～10日まで、八戸市内9店舗や南部町の店舗などで、青森県立八戸商業高の生徒が考案した「まっ黒弁当」を数量限定で販売した。「課題研究」の授業で短命県返上をテーマに取り上げ、昨年5月から開発に着手し、黒色でも健康的な県産食材を使用。生徒がユニバースに商品化を依頼した。弁当のメニューは、若鶏唐揚げ、八戸前沖さば照り焼き、ごま入り卵焼き、ゴボウや昆布などの煮物、イカスミを入れた「いかすみポテト」、ひじきご飯の全6種。考案した生徒は「多くの人に買ってもらい、健康意識を高めるきっかけになれば」と話している。</p>
<p>(8)</p>	<p>青い森鉄道全線開業10年 新たな魅力づくりへ</p> <p>東北新幹線の整備でJR東日本から経営が分離された青い森鉄道は、全線121.9キロが開業して12月4日で10年となった。収入の柱は、定期券を購入し通学や通勤で利用する層で利用者全体の約65%を占める。観光や買い物、通院などで鉄道を使う定期外の利用者を呼び込む企画切符の販売にも力を入れ、沿線にある県営浅虫水族館の入館料と乗車券をセットにした商品や、休日に1日乗り放題となる「青い森ワンデーパス」など、多種多様な商品を展開し、旅客運輸収入を下支えする。コロナ禍に見舞われ、経営が厳しさを増す中、ローカル線としてのさらなる魅力づくりが求められている。</p>
<p>(9)</p>	<p>オリジナルチョコレートコンテスト 「『ジョミ』のボンボンショコラ」優秀作品に</p> <p>八戸市の洋菓子店「パティスリー エミュー」の夏川戸聡オーナーシェフが考案した「『ジョミ』のボンボンショコラ」が、日仏商事（神戸市）主催のオリジナルチョコレートコンテストで優秀作品に選ばれた。三戸地域の特産果実「ガマズミ（ジョミ）」をレシピに取り入れ、酸味がチョコレートの甘さと引き立て合うよう仕上げた。完成品は、ガマズミのジュースが入ったキャラメルショコラとガナッシュが、ホワイトチョコで包まれ、外側は熟したガマズミのような赤色に染まり、まるで宝石のように輝く。夏川戸さんは「地元の特産果実の可能性を広げるきっかけになれば」と話している。</p>
<p>(10)</p>	<p>「台湾人がコロナ収束後行きたい都道府県ランキング」 青森県が4位</p> <p>台湾・香港人向けの日本情報サイトなどを手掛ける「ジーリーメディアグループ」が、「台湾人が新型コロナウイルスの収束後に行ってみたい都道府県ランキング」を発表した。青森県は、1位北海道、2位東京、3位京都に続く4位で、トップの北海道は、回答者の58.29%が「収束後に行きたい」と答え、青森県は30.41%だった。発表を受け、青森県誘客交流課の担当者は「新型コロナの影響で、密集が比較的少ない自然豊かな地域を旅行先に選ぶ人が増えるのでは」と予測した。</p>

<p>(6)</p>	<p>八商高と味の加久の屋がコラボ「せんべい汁茶漬け」開発</p> <p>郷土料理を手軽に味わってもらおうと、青森県立八戸商業高の3年生と八戸市の味の加久の屋が「せんべい汁茶漬け」を共同開発した。多くの人から受け入れてもらえる味を目指し、生徒と同社でレシピを出し合って試作。だし汁は通常より濃いめに調味して、ご飯を入れてお湯で割るとちょうど良い味になるよう工夫し、シイタケなどの具が入ったしょうゆベースのだし汁と、かやきせんべいのセットを完成させた。11月29日、同市のピアドゥで限定65セット（1セット3食入り500円(税込み)）を販売。感染症対策により、当初企画していた調理販売はできなかったが、生徒らは来店者へ商品をPRし、見事に完売させた。</p>
<p>(7)</p>	<p>短命県返上へ 八商高生考案の「まっ黒弁当」販売</p> <p>北東北でスーパーを展開するユニバースは12月4～10日まで、八戸市内9店舗や南部町の店舗などで、青森県立八戸商業高の生徒が考案した「まっ黒弁当」を数量限定で販売した。「課題研究」の授業で短命県返上をテーマに取り上げ、昨年5月から開発に着手し、黒色でも健康的な県産食材を使用。生徒がユニバースに商品化を依頼した。弁当のメニューは、若鶏唐揚げ、八戸前沖さば照り焼き、ごま入り卵焼き、ゴボウや昆布などの煮物、イカスミを入れた「いかすみポテト」、ひじきご飯の全6種。考案した生徒は「多くの人に買ってもらい、健康意識を高めるきっかけになれば」と話している。</p>
<p>(8)</p>	<p>青い森鉄道全線開業10年 新たな魅力づくりへ</p> <p>東北新幹線の整備でJR東日本から経営が分離された青い森鉄道は、全線121.9キロが開業して12月4日で10年となった。収入の柱は、定期券を購入し通学や通勤で利用する層で利用者全体の約65%を占める。観光や買い物、通院などで鉄道を使う定期外の利用者を呼び込む企画切符の販売にも力を入れ、沿線にある県営浅虫水族館の入館料と乗車券をセットにした商品や、休日に1日乗り放題となる「青い森ワンデーパス」など、多種多様な商品を展開し、旅客運輸収入を下支えする。コロナ禍に見舞われ、経営が厳しさを増す中、ローカル線としてのさらなる魅力づくりが求められている。</p>
<p>(9)</p>	<p>オリジナルチョコレートコンテスト「『ジョミ』のボンボンショコラ」優秀作品に</p> <p>八戸市の洋菓子店「パティスリー エミュー」の夏川戸聡オーナーシェフが考案した「『ジョミ』のボンボンショコラ」が、日仏商事（神戸市）主催のオリジナルチョコレートコンテストで優秀作品に選ばれた。三戸地域の特産果実「ガマズミ（ジョミ）」をレシピに取り入れ、酸味がチョコレートの甘さと引き立て合うよう仕上げた。完成品は、ガマズミのジュースが入ったキャラメルショコラとガナッシュが、ホワイトチョコで包まれ、外側は熟したガマズミのような赤色に染まり、まるで宝石のように輝く。夏川戸さんは「地元の特産果実の可能性を広げるきっかけになれば」と話している。</p>
<p>(10)</p>	<p>「台湾人がコロナ収束後行きたい都道府県ランキング」青森県が4位</p> <p>台湾・香港人向けの日本情報サイトなどを手掛ける「ジーリーメディアグループ」が、「台湾人が新型コロナウイルスの収束後に行ってみたい都道府県ランキング」を発表した。青森県は、1位北海道、2位東京、3位京都に続く4位で、トップの北海道は、回答者の58.29%が「収束後に行きたい」と答え、青森県は30.41%だった。発表を受け、青森県誘客交流課の担当者は「新型コロナの影響で、密集が比較的少ない自然豊かな地域を旅行先に選ぶ人が増えるのでは」と予測した。</p>

ふるさと寄附金のご案内

「ふるさと寄附金」とは、市内外を問わず、「八戸を応援したい」という方々から広くご寄附をいただく制度です。これまで納めてもらっていた税を「ふるさと寄附金」に振り替えていただくことで、直接、寄附者の意向を八戸のまちづくりに反映することが可能となります。

- ◆ 寄附金の使いみちをお選びいただき、「震災復興基金」「奨学ゆめ基金」などの基金積立や、教育・福祉・環境などの各種事業に充てることができます。
- ◆ 寄附をされた金額のうち2,000円を超える分について、一定限度まで住民税の税額控除がつけられます。
- ◆ 法人・団体からの寄附も受付しています。法人の場合、地方公共団体に対する寄附金は全額が損金算入できます。
- ◆ 寄附をいただいた個人の方には、金額に応じて、八戸せんべい汁セットやいちご煮セット、八戸さばづくし、南郷そば・つゆセットなどの特産品を進呈いたします。
- ◆ 総務大臣からの通知（平成29年4月1日付け総税市第28号）を踏まえ、平成29年7月から、八戸市内在住の方へのお礼の品の進呈を取りやめることとしております。

- ①10,000円以上 30,000円未満・・・特産品Aから1品（①のうち、10,000円～15,000円は金額に応じて1品）
- ②30,000円以上 50,000円未満・・・特産品A～Bから1品
- ③50,000円以上100,000円未満・・・特産品A～Cから1品
- ④100,000円以上……………特産品A～Dから1品

詳しくは、八戸市ホームページ内「八戸市ふるさと寄附金について」をご覧ください。

お申込み方法

インターネット

⇒ふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/city/product/02203>) または
楽天ふるさと納税 (<https://www.rakuten.co.jp/f022039-hachinohe/>) からお申込みください。

郵送・ファックス

⇒「ふるさと寄附金申込書」に必要事項を記入して、八戸市住民税課へ送付してください。
「ふるさと寄附金申込書」は郵送でお届けしますので、八戸市住民税課までご連絡ください。
申込書は八戸市ホームページからもダウンロードできます。

< 宛先 > 〒031-8686

青森県八戸市内丸一丁目1番1号 八戸市 住民税課 ふるさと寄附金担当

TEL:0178-43-9232 (直通)、FAX:0178-45-6737、Email:jumin@city.hachinohe.lg.jp

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。

八戸市東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973/FAX:03-3239-6723/Email:tokyo@city.hachinohe.lg.jp

所長 古町有加 主査 川村幸男 事務員 籠利京子